平成２４年６月吉日

特定非営利活動法人

地域水道支援センター

会　　員　各　　位

特定非営利活動法人

地域水道支援センター

理事長　中本信忠

拝啓

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、地域水道の将来について危機感を抱き、解決の道を模索するために各分野の有志により「特定非営利活動法人地域水道支援センター」を平成１８年に設立致しました。

平成１８年に群馬県高崎市で「第１回緩速ろ過セミナー」を開催して以来、広島県三原市、長野県須坂市、新潟県見附市、愛知県瀬戸市、群馬県高崎市、大分県別府市で開催して参りました。

昨年は「第７回緩速ろ過セミナーin別府」と同時に「第１回小規模水道セミナーin別府」を開催致しました。

中山間地の限界集落化が懸念される中で、水道の未普及地域に清浄な飲料水を安定して供給するために、これまでの経験を踏まえた実績の発表と同時に将来への課題と展望を議論致したい思い「第２回小規模水道セミナーin津山」を企画致しました。

**津山市の事例**は渓流水を水源とした無動力配水方式で、降雨時の高濁度対策として緩速ろ過の前処理として粗ろ過施設を付加したものです。２年経過後も砂掻きを行う必要がありません。20m3/day未満の極小規模の飲料水供給施設です。３ヶ所の見学を行います。

**大分県の事例**は井戸で鉄2mg/L・マンガン1mg/Lを超える原水を生物ろ過により「飲料適」の水質を維持している方式です。

私どものＮＰＯ活動が少しでも問題解決に寄与できることを願い今後も様々な活動を展開する所存でございます。

　ご参加を、お待ち致しております。

1. 「第２回小規模水道セミナーin津山」のご案内
2. 津山市の事例「深山水道」

敬具